

平成30年度市政懇談会会議録

開催日時：平成30年4月19日（木） 午後6時00分～午後7時00分

開催場所：境総合文化センター 小ホール

参加者：136人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

池田総務部長、千吉良企画部長、大澤財政部長、新井市民部長、小保方環境部長、
町田健康推進部長、須永福祉こども部長、栗田長寿社会部長、出崎経済部長、
笠原建設部長、六本木都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、
大澤消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、斉藤会計管理者、下城議会事務局長、
光山監査委員事務局長、村井教育部長

1 開 会 司会進行（企画調整課長）

2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介

3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は、夜分で大変お疲れのところ、このように大勢の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

この市政懇談会は、年度当初に伊勢崎がどのような事業を通じて何を目指していくかということ、代表的な事業を紹介しながら、ご理解をいただくと同時に、皆様からご質問等を承る時間も設け、皆様と元気な伊勢崎を作っていきたいという趣旨のもと、開催させていただくものです。

限られた時間のため、早速ではございますが、スクリーンをご覧くださいながら説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

4 重点政策の概要

（1）平成30年度重点政策について <市長説明>

（2）質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

◆高齢者対策について

【質問】

市長からご説明いただきましたが、非常に残念なのは重点政策の中に高齢者対策が一つもなかったことです。境地区は高齢化が非常に進んでおり、30%を超えております。

12の行政区では40%を超すか、もしくはそれに近いという極めて深刻な状況です。今年、介護保険制度や医療保険制度が改正されましたが、主には在宅という方向ですし、地域包括ケアシステムの中で市が進めているのも、住み慣れた地域にいつまでも住み続けられるようにということが第一にあると思います。

多くの高齢者が地域にいるということは、地域にとって最も重要な課題であると思っておりますので、高齢者対策についてもっと積極的に取り組んでいただきたいというのが要望でござ

ざいます。

高齢者向けの在宅サービスとして、様々な事業を行っていますが、昨年から行っているマイサポ事業は、私の町内でも20名以上が利用し、大変喜ばれています。しかし、現在進めている事業の中には改善、見直しをすべき事が多くあるのではないかと思います。

例えば、タクシー利用補助券の制度です。この制度が出来た時、町内の方にお勧めして、利用していただきましたが、使い勝手がよくないことから翌年から利用される方が減りました。利用者の減少については把握していると思いますので、前橋市のマイタク事業など、他市の事業なども参考にしながら見直しをしていただきたいと思います。

次に、運転免許証自主返納支援補助金についても説明がありましたが、返納しない理由は、通院や買い物に車を手放せないからであり、自家用車が無くても生活が営めるような支援が受けられる制度に、ぜひ見直しをいただきたいと思います。

同時に、市が行っている様々な事業を積極的に利用できるよう、広報紙以外の市民への周知方法についても検討していただきたいと思います。

また、伊勢崎市は、県内で外国人の最も多い自治体のようです。萩原地区では7%から8%の外国人がいます。以前は外国人も住所異動の際に情報が提供されたようですが、今は区長さん含め、全く外国人の情報がないという状況になっています。外国人の情報が提供されない理由と、出来れば外国人の異動についても情報提供していただきたいと思います。

【回答】（市長）

ご指摘のように、5、6年前までは市全体を平均しますと、高齢化率が10%台ということでしたが、高齢化については本市も例外ではなく、現在では24%程度となっています。今回触れませんでした。平成28年度には本庁のみに設置していた地域包括支援センターを、社会福祉法人等に委託して市内9カ所に設置しました。開設当初に比べて、相談件数が非常に増加してきております。地域包括ケアシステムは、地域の皆様が住み慣れた地域でいつまでも過ごしていただく事が目標となっており、在宅医療介護連携についても、いくつかの医療機関のご支援をいただきながらスタートいたしました。このケアシステムの構築については、医師、看護師あるいは社会福祉士など、様々な職種の方に集まっていたいただき、現状を見ていただくと言うような形でスタートしています。

長生きするだけでなく、出来ればいつまでも元気で生活をしていただく、そのために何が必要かということを検討し、事業を進めていきたいと思っています。

【回答】（長寿社会部長）

タクシー助成事業については、利用者の方が年々増えてきており、29年度で約1,500名弱の方に利用されました。高齢者対策として予算が限られた中で事業を行っていますが、今後については、コミュニティバス等も含めた交通政策全体として検討していきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

【回答】（総務部長）

外国人に関する情報提供というご質問ですが、過去に外国人の情報を区長等に提供していたかということについては把握しておりませんが、市内に2,000人以上いる災害時における避難行動要支援者については、区長、民生児童委員、警察及び消防に毎年1月に

更新した名簿をお渡ししています。今年度についても現在手続をしているところでございます。個人情報の提供については、要支援者の方でさえ、同意を持って初めて区長等にお渡しできるということですので、外国人の要支援者については同意を得て情報提供出来ると思っておりますが、外国人の方の異動等の情報提供は、個人情報保護の観点から難しいものと考えておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。

【回答】（市民部長）

外国人の関係についてですが、地区の夏祭りに外国人も一緒に参加するところもあります。市では、外国人が日常生活で使うような日本語の教室や個々の外国人に対して相談を受ける等の業務も行っています。地区の住民と交流することが様々な問題を防ぐことに繋がると思っていますので、交流あるいは相談が出来るような事業を推進していきたいと考えています。

◆剛志公民館について

【質問】

私は合併前に公民館で地域の人間として館長をしていました。剛志地区の場合は小学校、中学校が公民館と隣接しており、子供たちが下校時に「水をください」と公民館に立ち寄る事が多かったため、飲料用の冷水機を設置しましたが、その後撤去されてしまいました。

また、剛志公民館には、昔の剛志村役場を利用していたことから、剛志地区の歴史、資料に関するもの、古い写真など歴史的なものがたくさんありましたので、今の公民館が新築された際、現在の公民館へ運び込み、できる限り整理をして残しました。夏の終わり頃に写真を借りるため公民館へ行くとすべて処分されており、剛志村時代の記録がなくなってしまい、残念に感じております。

今の公民館のあり方を考えると地域に馴染みのある人、地域の人と顔が繋がる人が館長を務めれば、地域との連携が上手くいくと思います。群馬県内でも職員以外が館長を務めているところが多いと思います。

他の政策で、境に対して大変ご配慮いただいていることに関して感謝を申し上げますが、公民館に関してぜひ検討していただければと思います。

【回答】（教育部長）

公民館の利用に関しまして、まず住民の方に利用していただくことが一番だと考えておりますので、住民の皆様のニーズに答えることが出来るように運営していきたいと思っています。

それから、地域との連携に関してですが、人事異動がありますので、様々な職員が配置されることとなります。配置された職員が地域に溶け込んで皆様と一緒に運営をしていくことが一番だと思いますので、今後そのような指導をしていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

◆赤レンガ倉庫について

【質問】

赤レンガ倉庫についての要望でございます。一つは赤レンガ倉庫の名称ですが、「赤レンガプラザ」あるいは「赤レンガ交流館」のように子供達にも理解出来るような施設名を考えていただきたいと思います。

また、多目的スペースについて、展示場として考えた場合、境総合文化センターと比較して倍以上の料金設定ですので、同じくらいの料金にさせていただければと考えております。

私どものような小規模の団体には、多目的スペースは面積が広すぎますので、半分ずつの利用で料金も半分させていただければと思います。過去3年間写真展を実施しましたが、できれば境のシンボルとして改修されました赤レンガを使用したいという気持ちは十分にありますので、料金設定の再検討と、名称については小学生、中学生から名称の募集などを行い、馴染みのある名前にしていただきたいと思いますと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【回答】（経済部長）

貴重なご意見ありがとうございます。境の赤レンガ倉庫については、計画段階から地元各種団体の方々から貴重なご意見をいただくため、検討委員会を設置させていただきました。赤レンガ倉庫の名称ですが、この名称は馴染みが深く、ぜひ残してくれということで境赤レンガ倉庫という名称に決定したところでございます。

次に、料金についても同様に市内全ての施設の状況を調査し、検討委員会で議論いただいて決定いたしました。また、半分での利用については、1階の部分については広く使用できるように整備しておりますが、2階は面積も小さく、料金も約半分程度になっておりますので、利用目的に応じて使い分けていただければと考えております。今後は、運営委員会を組織しますので、皆様の意見を伺いながら十分議論させていただきたいと思っております。

◇閉会あいさつ（市長）

本日は夜分でお疲れのところ、このように大勢の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、先ほど本年度の主な事業についてご報告をさせていただきましたが、大変貴重なご指摘、ご意見等も承ったところでございます。皆様のご意見をしっかり受け止めさせていただいて、これからも皆様と一緒に元気な境地区、また、元気な伊勢崎を作るために、努力をしてまいりたいと思っておりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援、ご協力を重ねてお願いを申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

5 閉 会（企画調整課長）